

事例紹介

子育て経験者活用事業【山形県】

ふるさと雇用再生特別基金事業 【子育て分野】

「地域における人のつながりづくり」をテーマに子育て中の母親を対象に親子活動を実施してきました。東日本大震災を経験し、様々な環境や状況の親子達の理解に努め、より確かな人のつながりづくりを進めていきたいと思っています。



避難者サロン・ひっぱりうどんで笑顔

事業概要

子どもが健やかに育っていくために、両親や家族、地域の住民などが安心して子育てに関わることができるように、関わり合いや支え合いの仕組みをつくるための支援をする。

委託先

特定非営利活動法人
やまがた育児サークルランド

新たな 雇用創出数

3名

事業費

605万円
(平成23年度)

事業期間

平成21年4月
～
平成24年3月

業務内容

育児サークル訪問や、実際に育児サークルを立ち上げ、地域で活躍する母親達が育つための支援をする。

地域社会全体の教育力の向上を願い、子育て支援地域ネットワークづくりとして、親子活動や研修会を企画・実施する。

子育てと仕事の両立をめざす母親や、孫育ての祖父母を対象に講座を実施し、情報の提供や学び合う交流の場を設定する。

サロンやサークル訪問で気にかかる親子への支援、活動や研修会に参加した母親からの相談に対応する。

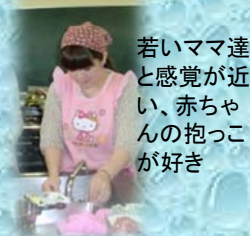
ママ達は
がんばっ
ています



スタッフです！



親子活動では手遊び、歌、
工作で大活躍



若いママ達
と感覚が近
い、赤ちゃんの抱っこ
が好き

孫が生まれ、
子育て中の
母親をうん
と応援して
いる



人も地域もつながる

活動紹介

「親子同士のつながり合いを育て、母親の主体性や自立を育てていく」ことが、子育て支援者の役目であると考えます。地域で子育て支援に取り組んでいる人や団体との交流・連携の支援体制をつくり、子どもを生き育てる「地域・人」づくりに向けた活動に取り組んでいます。

活動1

みはらしの丘・育児サークル マーブルチョコレート支援

◎待つから出向く支援

「人がつながる街づくり」

県庁・都市計画課

蔵王みはらしの丘はらっぱ館

との共催で「育児サークル」を立ち上げる。

◎母親達とともに活動を企画、準備、実施する。

◎3年目からは母親主体のサークル運営をする。



ミニトマトみつけ



テラスでランチ

自然・人・みんなで作る街・蔵王みはらしの丘



ママに抱っこでご機嫌



みはらし名物棒パン

ベニバナ栽培に挑戦



多世代のつながり
地域親子活動より

収穫したカボチャで
クッキーづくり

一緒に郷土料理を

活動2

地域子育て支援 連携親子事業の企画・実施

◎育児サークル、支援センター、子育てサロン、行政関係者などの訪問。親子の様子や支援スタッフとの話し合いから現在の地域子育て支援の課題を把握する。

◎課題解決に向け、地域学習の拠点である市街地公民館、コミュニティセンターとの連携で親子活動を実施する。

◎3年目は、地域の子育て支援者との交流を進め、多世代のつながりをつくる活動を実施する。

活動3

「子育て+お仕事の両立」 「孫育て・自分育ち」 講座の実施・講師

◎子育てをしながら働くママ、孫との時間を過ごしている祖父母を対象に、仕事と子育てのバランス、これからの生き方（ワーク・ライフ・バランス）につながる情報を提供する。

◎企業における「ワーキングセミナー」の研修会講師として講座の内容を提供する。

リーフレット作成しています

事業終了後の事業継続・ 雇用継続への展開

◎多世代の交流、地域の人材育成をめざした地域連携事業の継続。
◎母親の主体性や自立をめざす育児サークル支援やプログラム提供。

子育てハーモニーひろば事業【山梨県】

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業 【子育て分野】

事業概要

施設内に設置した「子育てハーモニーひろば」において、幅広い子育て支援サービスを複数提供することで、子育て中の保護者の育児支援を行なう。

委託先

- ・あんふあんねっと
- ・こどもプロジェクト(株)
- ・(株)富士急百貨店

新たな雇用創出数

13人

事業費

約4,439万円(平成23年度)

事業期間

平成21年6月
～
平成24年3月

業務内容

子育てに対する保護者の不安感の軽減と、孤立化を防ぐため、ショッピングモールなど日常生活に密着したサービスを提供する施設において気軽に立ち寄れる「子育てハーモニーひろば」を県内3カ所に設置し、各事業者の創意工夫のもと、幅広い子育て支援サービスを提供しています。

新規雇用者の方々はみなさん女性で、保育園での勤務経験や自身の子育ての経験を活かしながら、子育てに疲れたり、あるいは悩みを持ったりしているお母さん方に、ひろばのスタッフとして、また時には先輩お母さんとして様々な支援を行っています。

子育てのために仕事から離れていたため、職場復帰に不安も有りましたが、孤独で不安な子育て中のおかあさんがハーモニーひろばにきて、子育てに前向きになっていき元気になっていく姿をみると大変やりがいを感じています。

利用者からも好評で、基金事業終了後も継続してもらいたいとの声が多くよせられており、引き続き地域の子育て支援を行っていかれると思っています。



【実施場所】

- ①南アルプス市
小笠原商店街
- ②中央市
アピタ田富店
- ③富士吉田市
富士急百貨店 富士吉田店



活動紹介

【子育て相談】

定期的に各専門員に気軽に相談できるイベントを開催。助産師、臨床心理士、看護師、保育士からの専門的なアドバイスで子育てをサポート。



【遊び】

紙芝居やパネルシアター、積み木や粘土、折り紙、音楽や英語など…
五感を刺激する遊びがいっぱい！



【セミナー・講演会】

救命講習や食品添加物などの学習系から、ネイルアートや産後のシェイプアップ教室など、幅広いジャンルで大人気！



【季節のイベント】

クリスマスやハロウィン、七夕など
様々なイベントで大盛り上がり♪
お面や小物を手作りしたりと、
季節ごとに楽しめます。
なかには誕生日会があったりと
アットホームなひろばです。



事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

3カ所のひろばのうち、2カ所(あんふあんねっと(南アルプス市)、(株)富士急百貨店(富士吉田市))については市からの委託事業(子育て支援拠点事業)として、1カ所(こどもプロジェクト(株)(中央市))については民間のひろばとして継続していく予定です。

新規に雇用された方々も、これまでの経験を活かして、引き続きひろばで活躍されるほか、NPO法人で子育て支援の活動をされている方もいらっしゃいます。

スタッフの数を多く配置している事で、利用者からは手厚い支援が受けられると好評を得ていますが、今後は、経費の削減が課題となっています。

商店街等の空き店舗を利用した子育て支援事業【大阪府豊中市】

(おかまち子ども元気プロジェクト)

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業 【子育て分野】

事業概要

- ①民間学童保育サービス=ひとり親家庭、共働き家庭の子どもたちの放課後の安心・安全な居場所づくり
- ②小学生の豊かな放課後づくりの支援=地域の人々とのふれあいや社会体験の機会をつくり、子どもたちの「好奇心」や「コミュニケーション力」「学習力」を高めることを目的とする。

委託先

株式会社オフィス・オルタナティブ 従業員数 6人

新たな雇用創出数

7人

事業費

約1,100万円(平成23年度)

事業期間

平成23年5月
～
平成24年3月

業務内容

中年世代の再就職希望の女性を中心に雇用し、地域と子どもを結ぶ地域コーディネーターと学童スタッフの育成に取組ました。



みんなで作った楽童の看板

豊中市母子寡婦福祉会との協働で、「ひとり親家庭にやさしい民間学童保育」をめざし、学習支援(協力:1人親家庭支援NPOあっとすくーる)と、個別のニーズに柔軟に対応(夕ご飯の提供、時間延長等)する“おかまち楽童くらぶ”を運営しました。

“おかまち・にゃんと!”名付けて、拠点施設に近い4小学校区の小学生を対象に、地域の大人たちが“隊長”になって、子どもたちへの生きる力を育む各種プログラムを展開しました。

事前にシングルマザーに対してグループヒアリングをしたことで、勉強を含めて子どもとゆっくり関われない母親の悩み、母親自身の不安定さ等に気づきました。子どもにとっても親にとっても安心・安全の居場所になるような学童保育をやっていこうと、スタッフと試行錯誤しました。また、豊かな放課後づくりでは、おけいごとや学習塾では味わえない、仲間や大人とのコミュニケーション力をつけるにはどうすればよいか、“隊長”とともに真剣に考え、プログラムづくりをしました。(オフィス・オルタナティブ担当者)



事業のスタート時に地域の全戸配布したチラシ

活動紹介

おかまち楽童くらぶ

- ◆子どもと親のニーズに柔軟に対応する学童保育サービス
(子どもの送り、夕食の提供、保育時間の延長等)
- ◆現役大学生による学習支援(週3回・90分/日)
(子どもの勉強をみる時間のない親にとって学習支援は頼みの綱的存在)
- ◆おやつの会(ミーティング)、地域のおまつり参加や保育園との交流、「50円おやつの日」は地域商店街で買い物、土・長期休暇はおそうじやおやつ・昼食づくり等で、楽しみながら生活習慣や社会性を養う
- ◆文化活動への参加(アートワークショップの開催や参加等)
- ◆地域や他地域(静岡市)の子どもたちとの交流

- ◆種から育てる子ども料理教室
(地域住民に家庭菜園を提供してもらい、種から野菜を育て、収穫し、調理する中で、仲間との助け合い、農や食への関心を高められました。)
- ◆開店！ 子どもカフェ
(キッチン、ホールの分担を決めて、調理や接客の練習をして、実際に家族や友達がお客さんのカフェを運営した。)
- ◆だがしやをひらこう！
(地域の商店街のお菓子屋さんに陳列の仕方を習ったりしながら、公園でだがしやを開店。仕入れ、くじ作り、チラシ、店員まですべてを体験。)
- ◆シャーリーさんとパーティ、王さんとパーティ
(地域在住の外国人の女性が隊長となり、“教育”ではなく、外国語と異文化を学ぶパーティ形式のプログラム。) 等

おかまち・にゃんと！

事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

2014年度から同様の事業を継続実施することを予定しており、併せて学習支援への協力団体の“1人親家庭支援NPOあつとすくーる”にもおかまち子ども元気プロジェクトにご参加いただくことを予定しています。



①



②



③



④

- ①大阪名物! たこ焼きおやつ
- ②クリスマス会
- ③学習支援でお勉強
- ④外遊び



①



②

③



④



- ①カフェ・オーダー入りました!
- ②公園でだがしや。15分で完売
- ③種から育てた野菜の収穫
- ④シャーリーさんとアメリカ体験

【8月 プール遊び・スイカ割り・シャボン玉作り】

センターの中庭を利用し、子供達が大好きな水遊びやスイカ割りを行ったり、また色々な道具を使ってのシャボン玉など参加された保護者の方からは、好評な意見を多く聞くことができました。



【12月 クリスマス会】

シルバー会員が扮するサンタクロースからのプレゼントに子供たちは大はしゃぎ。



【平成23年6月 ポスト作り】

子供達の個性的なポスト作りを見て発想の豊かさに関心させられました。今後もこのような取り組みを様々な団体と協力し、実施できればと考えてます。



事業終了後の事業継続・雇用継続への展開

核家族や少子高齢化が進むなか、育児と仕事の両立は地域ぐるみの子育て支援が不可欠である。

若年夫婦の子育てからの精神的負担をやわらげるとともに安心して子育てができるようバックアップするため、これからも様々な団体と協力し実施していきたいと考えています。

吉野ヶ里町子育て支援預かり保育事業【佐賀県吉野ヶ里町】

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業
【子育て分野】

事業概要

急な用事や保護者の病気など、さまざまな事情で子どものお世話ができない家庭のために、一時的に子どもを預かったり、園児の預かり保育を行う。

委託先

学校法人 宝禅学園
吉野ヶ里こども園
従業員数26人

新たな 雇用創出数

3人

事業費

約330万円(平成23年度)

事業期間

平成21年4月
～
平成24年3月

業務内容

預かる子どもの安全を確保し、遊びなどを通して、園児の情操教育を行う。

男女を問わず保育士臨時職員を募集する。



子育てのお役に立てて良かったです♪

みんな仲良くおやつの時間



活動紹介

日曜、祝日、年末年始、お盆を除き、通年で預かり保育を実施している。
預かり保育を通して、未就園児の保護者や土曜日に仕事をする保護者への子育て支援を行う。

※ある一日の出来事

みんなでおやつを食べた後は、絵本の読み聞かせ。
そのあとひとり一人好きな遊びを楽しむ。最近ぬり絵をして遊ぶ子どもも多くなってきている。
折り紙では、手裏剣作りを始めると作りたいと言って作り始めるが、なかなかうまくいかず保育士に頼る子どもも。年長児ぐらいになると本をみて折り紙をおる子どもが増え、子どもの成長が見てとれる。



絵本の読み聞かせに夢中



自由気ままに楽しんでいます

事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

平成24年度の預かり保育事業について、急な用事等で子どもを預けた保護者から感謝の声が挙がるなど、保護者からの事業継続の要望があったため、子ども園で事業を継続する予定としている(一部町補助金)。ただし、保護者の負担金頼みでは規模を縮小せざるを得ず、全員の雇用継続は難しい。今後、事業を継続していくためには、行政の支援が求められる。